



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月8日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括

(氏名) 吉田 昌基

TEL 06-7222-3394

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	509	18.5	167		165		412	
2023年3月期第1四半期	625	7.2	6		4		17	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 413百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 17百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	76.01	
2023年3月期第1四半期	3.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,231	1,070	47.7
2023年3月期	2,559	1,527	59.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,063百万円 2023年3月期 1,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		8.00	8.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,136	14.9	264		267		502		92.54
通期	2,624	8.5	180		181		441		81.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	5,428,000 株	2023年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	506 株	2023年3月期	506 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	5,427,494 株	2023年3月期1Q	5,427,494 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和により、企業活動及び個人消費行動が徐々に日常を取り戻し、景況感の押し上げが期待される状況となりました。一方で、各国の金融引き締めによる景気下振れリスクの拡大、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、円安に起因する各種価格上昇は継続しており、依然として不透明な状況が継続しています。

国内の情報サービス業界及び当社グループの関連する人事労務領域においては、政府が推進する働き方改革や新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークへの急速な取り組み、業務効率化対応に伴うDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進などを背景に、企業の投資需要は引き続き増加しているものの、内外経済に対する影響への懸念から、新規の投資に対する先送りなど、投資に対する動きには慎重さが見られました。

このような状況の中、当社は、2023年6月6日付「第三者によるランサムウェア感染被害のお知らせ」にて公表しました通り、当社サービスを提供しているデータセンター上のサーバーがランサムウェアによる第三者からの不正アクセスを受けました。結果としてシステムが停止し、正常にサービスを提供できない状況となったことから、影響を受けた対象ユーザー様に対する6月ご利用分について請求を停止することとなりました。

またシステムの復旧に当たり、新たにクラウド基盤でのサービスを提供することとなったため、ランサムウェアに感染したデータセンター内のサーバーの撤去を予定しております。更にシステム復旧及びサービス再開に当たり外部専門機関への調査委託費用、インフラ設備の再構築費用、セキュリティ強化のための費用などが発生しました。これに伴い、当第1四半期連結累計期間において固定資産除却損として125,934千円、システム障害対応費用として103,780千円を特別損失として計上いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は売上高509,123千円（前年同四半期比18.5%減）、売上総利益114,592千円（前年同四半期比60.9%減）、営業損失167,499千円（前年同四半期は6,481千円の営業損失）、経常損失165,593千円（前年同四半期は4,231千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失412,564千円（前年同四半期は17,043千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、連結ベースで△31.9%（前年同四半期比30.7ポイント減少）、当社単体では△25.9%（前年同四半期は1.1%）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（社労夢事業）

社労夢事業は、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合及び一般法人における、社会保険、労働保険、給与計算等の手続きをサポートする業務支援ソフトウェアを提供しております。主力製品である社労夢（Shalom）シリーズをはじめ、マイナンバー管理システムの「マイナボックス」、WEB年末調整システム「eNEN」などのクラウドサービスで主に構成されます。

働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっている一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

社労夢事業では、前述しております通り、サービスを提供しているデータセンター上のサーバーがランサムウェアによる第三者からの不正アクセスを受け、当社サービスの対象である約3,400ユーザーの大半に対して正常にサービスを提供できない状況となりました。本事案を受け、影響を受けた対象ユーザー様に対する6月ご利用分についての請求停止を行いましたため、売上高が減少しております。

売上高の内訳としましては、クラウドサービス売上高が361,562千円（前年同四半期比29.0%減）となり、その内、ストック収益であるASPサービス売上高が347,132千円（前年同四半期比28.2%減）、システム構築サービス売上高が14,430千円（前年同四半期比44.0%減）となりました。システム商品販売売上高は20,639千円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

また、上記理由により売上高が減少したことで、売上総利益、営業利益共に前年同四半期に比べ大幅に減少する結果となりました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は387,076千円（前年同四半期比27.4%減）となり、売上総利益は89,357千円（前年同四半期比67.8%減）、営業損失は144,972千円（前年同四半期は21,950千円の営業利益）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は△37.5%（前年同四半期は4.1%）となりました。

(CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービス「GooooN」の提供を行っております。

フロントシステムの受託開発においては、顧客となる大企業や自治体などからの保守売上が順調に積み上がった一方、システム更新に対する企業の投資需要に応える新たな開発案件についても例年以上に積み上がりました。クラウドサービス「GooooN」においては、機能強化及び販売ルートの開拓に努めました。

コスト面においては、原価コスト等の削減に引き続き取り組んでおりますが、先行して外注費、販促費等が発生したため営業損失を計上することとなりました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は125,197千円（前年同四半期比34.8%増）、売上総利益は25,572千円（前年同四半期比55.5%増）、営業損失は27,739千円（前年同四半期は31,727千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額9,715千円を反映しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,070,510千円（前期末比13.2%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金683,934千円、売掛金264,058千円となっております。

また、固定資産の残高は1,161,330千円（前期末比12.5%減）となりました。主な内訳は、ソフトウェア464,956千円、差入保証金155,946千円、のれん126,301千円となっております。

以上の結果、総資産は2,231,840千円（前期末比12.8%減）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、973,591千円（前期末比17.1%増）となりました。主な内訳は、短期借入金400,000千円、未払金185,018千円、前受金141,459千円となっております。

また、固定負債の残高は187,550千円（前期末比6.7%減）となりました。主な内訳は、長期借入金180,000千円となっております。

以上の結果、負債合計は1,161,142千円（前期末比12.4%増）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は、1,063,669千円（前期末比30.0%減）となりました。主な内訳は、資本金219,110千円及び資本剰余金202,122千円、利益剰余金642,936千円となっております。

以上の結果、純資産は1,070,698千円（前期末比29.9%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年6月29日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて未定と公表しておりました2024年3月期の第2四半期（累計）連結業績予想及び通期連結業績予想を修正し、2023年8月8日に「特別損失の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」を公表いたしました。

なお、当連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

今後の業績推移等によって第2四半期及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	609,336	683,934
売掛金	507,988	264,058
商品	29,154	30,312
仕掛品	29,966	29,918
貯蔵品	440	420
前払費用	47,293	41,960
その他	8,350	19,904
流動資産合計	1,232,530	1,070,510
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	112,613	109,732
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	144,907	34,006
有形固定資産合計	257,520	143,739
無形固定資産		
ソフトウェア	485,234	464,956
ソフトウェア仮勘定	249,092	251,094
商標権	855	798
電話加入権	1,218	1,218
のれん	136,016	126,301
無形固定資産合計	872,417	844,369
投資その他の資産		
出資金	60	60
差入保証金	163,022	155,946
繰延税金資産	33,216	16,038
その他	1,176	1,176
投資その他の資産合計	197,475	173,221
固定資産合計	1,327,414	1,161,330
資産合計	2,559,945	2,231,840

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,633	36,001
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	115,592	73,928
未払金	125,321	185,018
未払費用	17,838	41,542
未払法人税等	77,519	1,133
未払消費税等	25,688	3,007
前受金	111,909	141,459
システム障害対応費用引当金	—	42,383
賞与引当金	71,228	35,925
その他	8,001	13,190
流動負債合計	831,733	973,591
固定負債		
長期借入金	195,000	180,000
退職給付に係る負債	6,010	7,550
固定負債合計	201,010	187,550
負債合計	1,032,743	1,161,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	202,122	202,122
利益剰余金	1,098,920	642,936
自己株式	△499	△499
株主資本合計	1,519,653	1,063,669
非支配株主持分	7,548	7,028
純資産合計	1,527,201	1,070,698
負債純資産合計	2,559,945	2,231,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	625,028	509,123
売上原価	331,615	394,531
売上総利益	293,412	114,592
販売費及び一般管理費	299,893	282,091
営業損失(△)	△6,481	△167,499
営業外収益		
受取配当金	1	1
受取賃貸料	10,701	10,249
仕入割引	5	—
業務受託料	1,500	1,500
その他	—	8
営業外収益合計	12,207	11,758
営業外費用		
支払利息	450	644
賃貸収入原価	9,507	9,209
営業外費用合計	9,957	9,853
経常損失(△)	△4,231	△165,593
特別損失		
固定資産除却損	—	125,934
システム障害対応費用	—	103,780
特別損失合計	—	229,715
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,231	△395,308
法人税、住民税及び事業税	597	597
法人税等調整額	12,826	17,178
法人税等合計	13,423	17,775
四半期純損失(△)	△17,655	△413,083
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△611	△519
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,043	△412,564

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△17,655	△413,083
四半期包括利益	△17,655	△413,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,043	△412,564
非支配株主に係る四半期包括利益	△611	△519

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	532,893	92,134	625,028	—	625,028
セグメント間の内部売上高又は 振替高	570	765	1,335	△1,335	—
計	533,463	92,900	626,364	△1,335	625,028
セグメント利益又は損失(△)	21,950	△31,727	△9,777	3,295	△6,481

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	386,386	122,737	509,123	—	509,123
セグメント間の内部売上高又は 振替高	690	2,460	3,150	△3,150	—
計	387,076	125,197	512,273	△3,150	509,123
セグメント損失(△)	△144,972	△27,739	△172,712	5,213	△167,499

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2023年8月8日開催の取締役会において、以下のとおり資金の借入を行うことを決議いたしました。

- ① 資金の用途 長期運転資金
- ② 借入先 株式会社りそな銀行
- ③ 借入金額 500,000千円
- ④ 借入金利 ベース金利(1ヶ月日本円TIBOR) + 0.450%
- ⑤ 借入実行日 2023年8月10日
- ⑥ 返済期限 2028年7月31日
- ⑦ 返済方法 元金均等返済
- ⑧ 担保の有無 無